

腸管出血性大腸菌感染症発生状況(平成28年)

平成28年1月1日～12月31日

番号	患者別	性別	年齢区分	住所	発病月日	初診月日	診断月日	血清型	備考
1	患者	男	5～9歳	垂水	1.4	1.6	1.9	O157	VT1VT2
2	患者	女	5～9歳	垂水	1.1	1.9	1.12	O157	VT1VT2
3	患者	女	40代	淡路市	6.1	6.2	6.5	O157	VT2
4	患者	男	50代	西	6.2	6.3	6.5	O157	VT2
5	患者	男	30代	堺市	6.8	6.14	6.18	O157	VT2
6	患者	男	10代	東灘	6.28	7.1	7.4	O157	VT2
7	患者	女	5～9歳	北	7.1	7.2	7.6	O157	VT1VT2
8	患者	女	30代	東灘	7.1	7.5	7.7	O157	VT2
9	無症状病原体保有者	男	5～9歳	東灘		7.5	7.7	O157	VT2
10	患者	男	0～4歳	中央	6.30	7.3	7.6	O157	VT1VT2
11	患者	男	5～9歳	長田	6.29	7.4	7.8	O157	VT2
12	患者	女	20代	灘	7.4	7.5	7.8	O157	VT1VT2
13	無症状病原体保有者	女	40代	中央		7.9	7.12	O157	VT1VT2
14	無症状病原体保有者	女	0～4歳	北		7.11	7.13	O157	VT1VT2
15	無症状病原体保有者	女	5～9歳	北		7.13	7.15	O157	VT1VT2
16	無症状病原体保有者	男	0～4歳	中央		7.20	7.23	O157	VT1VT2
17	患者	男	10代	西	8.4	8.5	8.9	O157	VT2
18	患者	女	60代	兵庫	8.6	8.8	8.10	O157	VT1
19	無症状病原体保有者	女	20代	西			8.11	O157	VT1VT2
20	患者	女	10代	垂水	8.11	8.15	8.22	O157	VT1VT2
21	無症状病原体保有者	女	30代	垂水		8.23	8.25	O157	VT1VT2
22	患者	男	30代	西	8.22	8.27	8.29	O157	VT1VT2
23	患者	男	0～4歳	西	8.27	8.29	8.31	O157	VT1VT2
24	患者	男	5～9歳	西	8.19	8.30	9.1	O157	VT1VT2
25	患者	女	30代	西	8.29	8.30	9.1	O157	VT1VT2
26	患者	女	0～4歳	垂水	9.29	10.3	10.3	O157	VT2
27	無症状病原体保有者	男	20代	垂水		10.14	10.19	O157	VT型不明
28	患者	女	5～9歳	北神	10.11	10.14	10.19	O157	VT2
29	患者	男	5～9歳	北神	10.12	10.14	10.19	O157	VT2
30	患者	女	20代	宝塚	10.13	10.16	10.20	O157	VT2
31	患者	男	5～9歳	東灘	10.17	10.20	10.27	O157	HUS症例
32	患者	男	5～9歳	灘	11.18	11.21	11.24	O157	VT2
33	無症状病原体保有者	男	50代	灘		11.25	11.28	O157	VT2
34	患者	女	90代	須磨	11.21	11.21	11.25	O157	HUS症例(VT1VT2)

※2006年4月に感染症発生届出基準が一部改正され、溶血性尿毒症候群(HUS)発症例に限って、便からVero毒素を検出した場合や患者血清からO抗原凝集抗体または抗Vero毒素抗体を検出した場合にも届出が必要となりました。